

# わかしお便り

Vol.

21

WakashioDayori

2019.05.17

- CONTENTS
- 原料小麦情報……シカゴ市況、麦価・粉価動向など
  - 市場トレンド情報……‘ちばふん’目線で最近の食品市場をご案内
  - 新製品発売状況……イチオシ製品のご紹介
  - 雑感



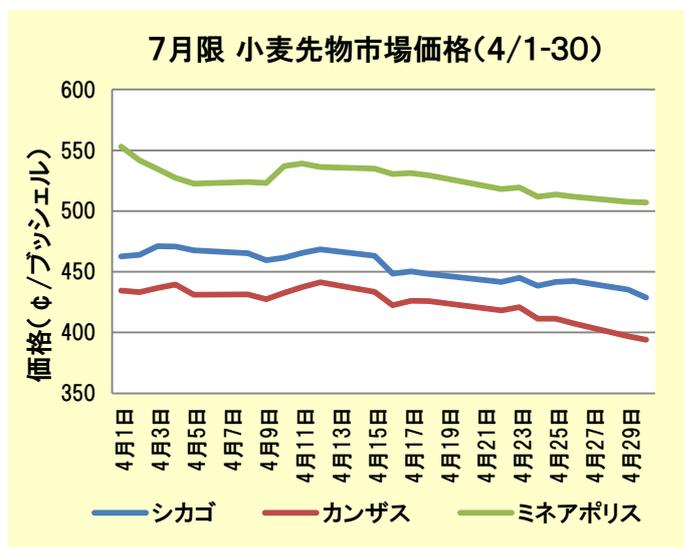
シカゴ市況、麦価・粉価動向など

## 冬小麦の作柄は引き続き良好。春小麦の作付けも順調で市場は右肩下りの相場チャートを形成。

4/1~30のシカゴ穀物相場(7月限)は¢ 429~471/ブッシェル(bu)のレンジで推移しました。4月に入ってから市場の弱気な流れは変わらず、ほぼ右肩下りの相場チャートを形成しています。

冬小麦の作柄は引き続き良好であることと、春小麦の作付け進捗についても大きな懸念がないことから、現状の不確定要素はほぼ織り込まれている状況です。加えて世界的に高水準な在庫と、米中貿易摩擦の影響による米国穀物の輸出低迷観測から相場は一段と下落し、昨年秋~年初までのレンジであった¢ 510/buから¢ 60~70/bu下落しています。このまま特に大きな要因がなければ、10月の政府売渡価格は2期連続での引き下げとなる可能性があります。

一方でプライムハード小麦の産地である豪州東部については依然として雨が少ない状況が続いており、本年産の作柄についても不安が残ったままです。播種の断念による作付減や生育不良により本年も供給が平年を大きく下回れば、価格のさらなる高騰や供給その



ものができなくなる恐れがあります。国内産小麦の作柄についても先月から大きな変化はなく、平年よりも生育が進んでいますが病害虫による目立った被害もなく概ね順調のようです。九州では既に収穫が始まっている地域もあり、いよいよ新麦シーズンの到来となります。

# 市場トレンド

情報

“ちばふん” 目線で最近の食品市場をご案内

## 「ビーガンフード」、ご存知ですか？

ここ最近、学校や職場、お取引先様において外国の方を見る機会が多くなったように感じませんか。総務省の人口動態調査によると、東京都では20代の10人に1人が外国人との事です。低糖質やグルテンフリーなど、海外から発信された食のトレンドがテレビや雑誌を通じて我々の目に入ってくるが多くなってきています。これも日本における外国人の比率が高くなってきているからなのだと思います。

今回ご紹介させて頂くのは、海外で話題となっている「ビーガンフード」です。ビーガンとはベジタリアンのなかでも畜肉・魚介類などの肉類に加え、卵や乳・チーズ・ラードなど動物由来の食品を一切とらない「完全菜食主義者」を指すそうです。

欧州ではマクドナルドでもビーガン向けバーガーを発売しており、ビーガン向け食品の市場規模は加工食品だけで2018年に世界で100億ドル(約1兆1千億円)を超えると予測されています。我々小麦に携わる業界とは無縁の様に感じますが、ラーメンやうどん等の「麺」は、動物由来の素材は一切使われておらず、ビーガンフードと言えます。ところが、つゆやスープに畜肉エキス、魚介エキスが含まれるとビーガンフード



に該当しません。最近では、こういった麺類のスープ関係でもビーガン対応の製品が販売されているようです。

いよいよ来年は東京でオリンピック・パラリンピックが開催され、より一層外国人の人口増加、文化の流入が予測されます。ビーガンになじみの薄い日本でも、オリンピック・パラリンピックに向けてビーガン市場が急激に拡大していくのではないのでしょうか。



# 新製品発売状況

イチオシ製品のご紹介

## うどん用粉:「花象 麺の舞」

今回はうどん用粉「花象 麺の舞」のご紹介をさせていただきます。

「花象 麺の舞」は、弊社うどん用粉の最高級品質の商品です。鮮やかな艶のある色沢で、麺表面はもちりなめらか。中心部はうどんに最適な粘りと弾力感を備えています。弊社製粉技術を駆使し、小麦粉を採り分けることで、麺の色調の変化を少なくした商品です。

水を多く抱き込み、しなやかに伸びるため、手打ちのような多加水の条件でもべとつかずスムーズに作業できることも特長となっております。機械製麺、手打ちうどん、乾麺等、あらゆるうどんニーズでご満足いただけるパフォーマンスを発揮すること請け合いです。是非、お試しください。



## 雑感

30年余り続いた「平成」が終わり、「令和」の時代が幕を開けました。世の中は空前の「令和」ブームになりますが、最初の5月1日を皆さまは、どこで、誰と、どのようにして過ごしましたでしょうか。私は祝意を込め、お寿司(スシロー)を家族でいただきました。

### 新時代「令和」、おめでとうございます。

新元号「令和」については、概ね良好な受け止め方をされているようですが、中には「令」の文字が“指令”“命令”“令状”“法令”“司令官”など支配的なイメージがあり、私も耳にした瞬間、違和感のような馴染まない印象もありました。しかし様々な情報を得ていくうちに、それほど違和感も感じなくなりました。皆様ご存じの通り、その出典については「万葉集」の「梅花の歌



三十二首」の序文で、「初春の令月にして、氣淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す」からになります。

安倍首相は、新元号「令和」に込めた意味について、「悠久の歴史と香り高き文化、四季折々の美しい自然、こうした日本の国柄をしっかりと次の時代へと引き継いでいく、厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人一人の日本人が明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いを込めた」と語っておられました。

また「令」の字は、「ご令嬢」や「ご令室」といったように、相手を敬って呼ぶときに使う美称になり、相手を敬い共に和す「令和」は、日本にふさわしく美しい元号で、今では品のある響きだと思っています。

5月1日から始まりました「令和」の時代には、商業用AIが世界的に広まるとも言われています。これからどんな世界が待っているのか想像もつきませんが、梅の花の様に咲き誇る、より良い時代・より良い「千葉製粉」にしていきたいと思えます。

(K)

 **千葉製粉株式会社**

製粉・ミックス事業本部

Tel:043-241-0116 Fax:043-241-0611 E-mail:seifun-mix@chiba-seifun.co.jp

**【重要】** 本レポートは、あくまで小麦粉関連の情報提供を目的に作成されたものです。信頼できると思われる 公開情報に基づき作成されておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。読者の皆様におかれましては上記ご留意の上、ご拜読くだされば幸いです。皆様に未永くご愛読いただけるよう執筆者一同精進いたしますので、引き続き宜しくご留意申し上げます。